

主張

- 一 婦人の社会的地位の向上
- 一 深夜業の撤廃
- 一 寄宿舎の改善及身体の自由
- 一 二重賃銀及請負制度の廃止
- 一 八時間労働(一週四十八時間)の實現
- 一 最低賃銀の設定

以上

日本労働総同盟
大阪紡織労働組合

蓋し救済に違た、
之かまれば行く、国家社会の健全なる發達は、未
来の母たる子女の肉体的、精神的、健全なる發達に与
る、若し現在の如き状態の永續、持續せんか、国
家社会の將來は實に暗澹たるものがある。
長時間の労働を終へて帰る中、其所には何等の
養ふ途なく、智を研く方法もなし、よし之れ有り
しとすも其れを厚す可く、一日の疲勞が餘りに激
げし過ぎる。
人間は表面に於て常に経済的利益獲得の爲
めに、互いに相憎み相争ふ所の鬭争の肉塊である、
然らば其裏面に於ては互に相愛し相扶け合ふ所の
美しき流の結晶体がある。然るに